

日誌（昭和34年5月）

【国内】

- 1日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引上げ（年利5.625%以上を5.75%以上へ）
- 2日 ○第31回通常国会閉会
- 13日 ○日本・南ベトナム賠償協定調印
- 16日 ○日本・スウェーデン貿易取決め調印

- 23日 ○本行、アメリカ合衆国通貨表示外国為替引当貸付利率を引上げ（日歩8厘を9厘へ）
- 25日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引上げ（年利5.75%以上を5.875%以上へ）

【海外】

- 1日 ○台湾、中華開発信託会社の発足
- 5日 ○ニュージーランド政府、産業開発基金の設置を発表
- 6日 ○イラク、マジヤリ内閣成立
- 11日 ○日・タイ特別円現金支払完了（54億円）
○ガット第14回総会、ジュネーブにて開催（5月30日まで）
- 15日 ○英国、海外渡航者運賃のポンド払を自由化
○フランス、外国銀行券取引を自由化
- 18日 ○ニューヨーク主要銀行、プライム・レートを4%から4½%へ引上げ

- 21日 ○パキスタン・米国租税協定調印
- 22日 ○ギリシャ、ドラクマの交換性を回復
○イタリア、対ドル地域輸入自由化率を引上げ
- 24日 ○英・ソ貿易協定モスクワで調印
- 28日 ○英国、ドル物資輸入制限を大幅緩和
- 29日 ○ニューヨーク、シカゴ、セントルイス、ミネアポリス、ダラスの5連銀、公定歩合を3%から3½%へ引上げ
○インドネシア・米国余剰農産物協定調印
- 30日 ○シンガポール、総選挙を実施、左翼の人民行動党圧勝